

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2025 年 5・6・7 月号

編集発行人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー

京都市左京区一乗寺竹ノ内町 2 3

075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第 638 号

戦後の平和理論のなかで、もともと国際政治の舞台で一般的に叫ばれたのが「抑止論」でした。抑止論は、軍拡と同義語です。相手が軍備を増大させれば、それに対応して、こちら軍備を増強させます。そのことによって、相手をくい止め、押さえ込み、平和を維持するという平和理論です。相手が一〇〇の武器を持っていたら、こちらも負けずに、一五〇の武器を持つ。国際政治の用語では「戦略的安定性」と呼ぶようです。お互いが武力の均衡(バランス・オブ・パワー)によって安定し、平和が保たれるという戦略です。抑止論の基本的な発想は、自分たちが油断をして武器を持たなければ、相手は隙をついて攻めてくるということになります。

軍備、武器によって、平和が構築されるという自己矛盾を批判し、武力や暴力装置によって平和を実現することはできないとします。宗教的パシフィズムは、「平和を尊重する」、「平和を愛好する」という意味での平和主義ではありません。ありとあらゆる暴力、戦争を否定するという宗教的な立場をとりません。自分が殺されても、殺す側の立場には立たないことを信条とします。平

「戦争の時代にしないために」



財団評議員・関西運営委員

山本 俊正

和を実現するための手段としての戦争や暴力を徹底的に放棄することを出発点とするのです。ですから社会変革、正義の実現のための武力闘争や暴力革命の思想をも否定します。仏教には「不殺生」という教えがありますがキリスト教では非暴力主義に基づく絶対平和主義の伝統がそれに当たります。

この機関紙「はなしあい」が皆様のお手元に届くころ頃に

氏は韓国のガンディーと呼ばれる咸錫憲(ハム・ソクホン)のシアル(民)思想による非暴力運動の歴史的意義を考察しています。咸錫憲の師であった内村鑑三との出会い、ガンディーの非暴力運動、クエーカーの平和運動との関係が解明されています。踊 共二氏は 16 世紀の宗教改革と共に登場し、17 世紀にアメリカやカナダに広がった再洗礼派の非暴力主義の歴史的役割と展開、またその過程における迫害の実相について解説しています。さらに、西村裕美氏は英米の良心的兵役拒否の制度を歴史的に振り返り、良心的兵役拒否者たちによる国際活動の意義について詳察しています。

日本クリスチャン・アカデミーは、「はなしあい」を大切にしていきます。アカデミー運動の根幹であり活動の基軸です。出版される本の背後には、各講師(執筆者)による講演後に講師と参加者との「対話」や「はなしあい」の豊かな時間が、言外に込められています。

「戦争の時代」にしないためにも、出版される本が平和を求める「はなしあい」と「対話」の輪の広がりにより寄与することを願って止みません。

(元関西学院大学教授)

6. 「宗教対話Ⅱ」として、これまでに引き続き柏木義円研究会との共催で、柏木義円の現代的意義を問う公開講演会を実施する。
7. 「宗教対話Ⅲ」として、「福島揚と共にハンス・キュンクを読む」というテーマで、福島 揚講師の連続講座を実施する。このプログラムは、ハンス・キュンク著『イエス』（ヘウレーカ社）を、講師の手引きにより各回 1 章ずつ発表者を決めて議論するゼミ形式で実施する。このプログラムはオンライン開催を基本に、対面併用回も予定している。
8. 「ワークショップ」として、昨年度に引き続き、「さらに豊かな礼拝のために ことばを届けるトレーニング」というテーマで、友野富美子講師によるワークショップを月に一度のペースで開催する。礼拝の司式や聖書朗読、詩編交読、説教などの発声・発語の訓練を行う。このプログラムは対面で実施する。
9. 各神学校の枠を超えた神学生たちの交流を目的とした「神学生交流プログラム」については、2025 年度も各神学校の賛助を得て、第 15 回プログラムを実施する。会場等が未定であるが、可能であれば対面とオンラインを併用して実施したいと考えている。

フォーラム事業			
聖書を読む講座Ⅰ	10 回	連続講座「LGBTQ+と聖書」 みんなで考えてみよう！ 講師・藤本 満（インマヌエル 高津キリスト教会 牧師） オンライン （共催：早稲田奉仕園）	第1回4月15日(火) 第2回5月13日(火) 第3回6月10日(火) 第4回7月8日(火) 第5回9月9日(火) 第6回10月14日(火) 第7回11月11日(火) 第8回1月13日(火) 第9回2月10日(火) 第10回3月10日(火)
関東フォーラム 宗教対話Ⅰ	10 回	読書会「キリスト教と文学」 講師・柴崎聡（詩人、日本聖書 神学校講師） 会場：NCA 事務所 対面開催 デュ・モリア『レベッカ』、芥川 龍之介『ロッコ』『おぎん』『白』、 アルベール・カミュ『異邦人』、三 浦綾子『氷点』(上)、グレアム・グ リーン『権力と栄光』、尹東柱の 詩、チャールズ・ディケンズ『クリ スマス・キャロル』、遠藤周作『わ たしが棄てた女』、スウィフト『ガ リヴァー旅行記』、まどみちおと阪 田寛夫の詩	第1回4月15日(火) 第2回5月20日(火) 第3回6月17日(火) 第4回7月15日(火) 第5回9月16日(火) 第6回10月21日(火) 第7回11月18日(火) 第8回1月20日(火) 第9回2月17日(火) 第10回3月17日(火)
関東フォーラム 宗教対話Ⅱ	1 回	柏木義円公開講演会 講師・未定 オンライン （共催：柏木義円研究会）	11 月 29 日(土)
関東フォーラム 宗教対話Ⅲ	8 回	福島揚と共にハンス・キュン クを読む 講師・福島 揚（神学者） オンライン開催、対面併用回 も予定	第1回5月23日(金) 第2回6月27日(金) 第3回7月25日(金) 第4回9月26日(金) 第5回10月24日(金) 第6回11月28日(金) 第7回1月23日(金) 第8回2月27日(金)
ワークショップ	10 回	さらに豊かな礼拝のために ことばを届けるトレーニング講 師・友野富美子（日本キリス ト教団深川教会牧師） 会場 日本キリスト教団東中野 教会 対面プログラム	第1回5月16日(金) 第2回6月20日(金) 第3回7月18日(金) 第4回9月19日(金) 第5回10月17日(金) 第6回11月21日(金) 第7回12月19日(金) 第8回1月16日(金) 第9回2月20日(金) 第10回3月20日(金)

神学生交流 プログラム	第15 回神学生交流プログラム 校長 神田健次（関西学院 大学名誉教授） 講師 未定 開催場所未定	2026 年 3 月に 2 泊 3 日で開催 予定
----------------	--	---------------------------------

Ⅲ 関西セミナーハウス活動センター2025年度事業計画

今日の世界では、少数の超大国が、その強大な軍事力と経済力を背景に、自己の権益を拡張しようとし、超大国の独裁的指導者の一言が、世界の人々の平和を乱す結果を招いています。クリスチャン・アカデミーの運動は、第 2 次世界戦中、弱い立場の人達の命を守る責任を果たし得なかった教会の反省から始まった運動で、はなしあいを通して、対立を超えて、繋がり合い、正義、平和、いのちが尊ばれる社会の実現を目指す運動です。

関西セミナーハウス活動センターは、改めてその意義を自覚し、2025 年度には、別表に示す課題について、問題の本質を見抜き、根源的問題提起のできる専門家を招き、はなしあいを深め、混迷を克服する道を探ります。

これらの集会では、関西セミナーハウスにおいて、講師と参加者が直接出会い、時間をかけて語り合い、考えを深め合うと共に、オンラインにより遠隔の人ものはなしあいに参加できるようにします。

はなしあい集会の発題は、講師の同意を得て録画し、YouTube ライブラリーとし、後日ホームページから申し込むことにより、視聴出来るようにします。

これら集会の成果は、適宜機関紙「はなしあい」誌上で報告すると共に、テーマによっては、発題講演の記録をまとめて書籍として出版します。今年度には、昨年度開催した戦争と平和に関する集会を中心に、「『戦争の時代』にしないために～非暴力・平和主義を求めて～」と題する書籍を出版する予定です。

さらに、ドイツアカデミーとの間で、共通の課題について、共同開催の集会の可能性も探ります。

これら活動は、ホームページ上で効果的に宣伝し、支持者を広げ、賛助会費や寄付金で支援されるよう努めます。

フォーラム事業			
修学院フォーラム 社会	第1回	韓国における戒厳令の歴史と日本 帝国、そしてキリスト教 講師 洪 伊杓（ホン・イビョ）（名古屋 学院大学非常勤講師）	5月24日 (土)
	第2回	〈エネルギーを考える〉 なぜ原発を止められないのか？(仮) 講師 青木美希（ジャーナリスト 作家） 講師 交渉中	9月14日 (日)～ 15日 (月、祝)
	第3回	新たな戦前 No！ 一琉球を戦場にしていけない 講師 金井創（日本基督教団佐敷教会牧師）	2026 年 2月14日 (土)
	第4回	人口減少社会の未来を考える(仮) 講師 交渉中	開催日未定
修学院フォーラム 福祉	第1回	宗教はエコか？ ～神道、仏教、キリスト教からの問いかけ 講師 鎌田東二（京都大学名誉教授、 梶田真章（法然院貫主）、大宮有博（関 西学院大学法学部教授、宗教主事）	6月28日 (土)～ 29日(日)
	第2回	釜ヶ崎をとおしてみえる私たちの社会 講師 大谷隆夫（日本基督教団摂津富田 教会牧師、関西労働者伝道委員会委員長）	7月12日 (土)
	第3回	東九条に生きる(仮) 講師 交渉中	2026 年1 月予定
	第4回	ユース・エンパワメント(仮) 講師 交渉中 京都 YWCA と共催	2026 年3 月予定

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミー 2025年度事業計画

公益財団法人日本クリスチャン・アカデミーは、2025年度の実業計画を次の通り定める。

I 事業計画基本方針

本法人の使命を果たすために、2024年度において以下の基本方針を掲げ、新たな活動や事業方を検討し安定した財団運営を推進する。

1. 財団事業の展開

1) 定款に定められた当財団の目的に添って、キリスト教精神に基づき、立場の相違を越えた「はなしあい（対話）」を通し、自由、平等、正義、平和に基づく社会の実現に寄与する事業を一層活発に展開する。

2)① アカデミー運動における事業活動は、研修・セミナーは「はなしあい」を基本として積極的に集合形式を計画するとともに、リモート形式についても運営方法の充実をはかる。

② 関西セミナーハウスの事業は、現在の社会状況を踏まえつつ、事業展開の可能性を模索し、新たな運営に取り組む。

3) 東・西施設の適切な運営管理を行い、法人運営の健全化を進める。

2. 事業の推進

1) 公益目的事業

(1) 東・西活動センター

① 「はなしあい」を基本とした現行のフォーラム事業及び研修・セミナー・体験交流事業を継続、発展させる。

② 各活動センターのプログラムは、それぞれにおける収支バランスをとることを原則とし、且つ事業費、寄付金収入も含めて、各活動センターとしての収支バランスの取れた運営を目指す。

③ 講師ならびに参加者同士の対話を中心に進めつつ、オンライン会議においてもより充実した運営方法に取り組む。

④ アカデミー運動の目的に従って今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発と効果的な広報に取り組む。

⑤ 得られた成果については機関紙ならびにデジタルツールなどによって広く社会に発信し、啓発活動を活発化する。

(2) 関西セミナーハウス

アカデミー活動の安定的継続を支援するため、宿泊施設・会場を諸団体、教育機関・学会・研究会活動等の広い利用に供する方策を検討し実施する。

2) 収益事業

(1) 関西セミナーハウス

① 関西セミナーハウスの安定した運営に取り組む。

② 一般利用者、企業等に対して施設の利用を促進し、その収益の一部を公益活動に資する方策を組み込む。

(2) 日本キリスト教会館

当財団所有の事務所用物件の一部を貸与し、その収益を当該施設の補修、維持、向上等及び公益活動

への貢献に資する。

なお、借主及び管理組合との交渉に関しては、財団本部が責任をもって行う。

3) 広報活動

フォーラム事業、研修・セミナー・体験交流事業等の内容並びに各年度事業計画・予算及び事業報告・決算を機関紙「はなしあい」において定期的に報告するとともに、より効果的な広報を検討し取り組む。

具体的には広報先やツールなどについて、効果的に且つ効率的に行う方策を検討し実施する。このことによって本法人の使命や活動をより広く知らせ、理解者、賛同者ならびに事業や活動の参加者、利用者の増加につなげる。

東・西活動センターおよび関西セミナーハウスの活動状況については、ホームページやSNS等によって積極的な情報発信を継続する。

3. 運営推進体制の安定化

公益目的事業の運営推進に当たって、継続的な事業に関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の整合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を確保し、活動の安定的展開を目指す。

4. 賛助会員、寄附金の拡充

公益目的事業、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念の理解、浸透につとめ、アカデミー運動を支えようとする賛助会員及び寄附金の仕組みや広報について見直し、拡充に取り組む。

5. 本法人の使命に基づき健全に運営を継続するため、各事業を推進する人財を育成し確保するとともに、役員・委員との連携を強化する。

II 関東活動センター2025年度事業計画

2025年度の関東活動センターは、日本クリスチャン・アカデミーの理念に基づき、以下のような諸プログラムを計画している。

1. 関東活動センターの事務局体制が新しくなって2年目となるため、これまでの連続講座に加えて特別講座等を開催し、関東活動センターの活動に関わる人を増やしていきたい。

2. 感染症のパンデミックを経て培ったノウハウを用いて、対面とオンラインを併用して講座やプログラムを開催していく。

3. 各プログラムの開催は、これまでも共に活動してきた早稲田奉仕園や柏木義円研究会等と協力しながら開催していく。

4. 「聖書を読む講座Ⅰ」として、「LGBTQ+と聖書」というテーマで、藤本満講師の連続講座を実施する。このプログラムは、『LGBTQ 聖書はそう言っているのか?』（イクススエブックス）をもとに、基本的に全面オンラインで実施する。

5. 「宗教対話Ⅰ」として、昨年度に引き続き、柴崎聰講師による少人数の読書会「キリスト教と文学」を実施する。このプログラムは対面で実施する。

（2頁より続く）

修学院フォーラム いのち	第1回	なぜアメリカのキリスト教はイスラエルを支持するのか？ 講師 大宮有博（関西学院大学法学部教授）	4月19日（土）
	第2回	ロシア正教会とウクライナ正教会の関係—ロシアのウクライナ侵攻の宗教的背景 講師 久松英二（龍谷大学国際学部教授）	6月14日（土）
	第3回	旧約聖書と現代（仮） 講師 月本昭男（立教大学・上智大学名誉教授）	11月2日（日）～3日（月・祝）
研修・セミナー・体験交流事業			
開発教育 セミナー	第1回	開発教育入門セミナー ～人権・平和・環境などの地球的課題を参加型で学ぼう～ 共催 京都市国際交流協会 「世界がもし100人の村だったら」 『ことば』で世界を探検しよう！ 講師 大槻一彦（Glocal Net Shiga）、佐藤友紀、織田雪江、友前尚子（開発教育研究会）	6月22日（日）
	第2回	パレスチナから「平和」を考える～私たちは欧米中心の認識を乗り越えられるか～ 講師 金城美幸（名古屋学院大学講師）	9月13日（土）～14日（日）
	第3回	国連を超えて～国際平和を探究する平和教育の実践から 講師 野島大輔（行政学修士[国際人道法] 国際関係学博士[平和教育]）	10月4日（土）～5日（日）
	第4回	コモンズとしての食～食と農を私たちの手に取り戻すには～ 講師 山本奈美（明治国際医療大学助教）	11月1日（土）～2日（日）
	第5回	日本とアジアの過去・現在・未来～共に生きる隣人として出会いなおす～ 講師 太田修（同志社大学グローバル・スタディーズ研究科教授）	12月20日（土）～21日（日）

IV 関西セミナーハウス2025年度事業計画

2025年度の関西セミナーハウス事業計画は、以下の通りとする。

1. 運営方針

- 1）コロナによる臨時休館解除4年目となる本年度は従来の運営方法にとらわれず、利用者の利便性を高め、施設の魅力を再発信するなど今後の社会変化に対応した事業展開を行う。
- 2）宿泊者および会議室利用の増加を図ることにより、収益事業として財団経営の安定化につなげる。
- 3）関西セミナーハウス施設維持管理を目的とした寄附金の募集を継続する。
- 4）関西セミナーハウスの運営に関する諸課題については経営委員会で検討し、運営する。

2. 予算編成上の留意点

- 1）会計単位別の収支予算書に加え、関西セミナーハウスについては損益計算書を作成する。
- 2）職員の人件費について、本部と関西セミナーハウスの従事割合により配分する。従事割合は2024年度と同等とする。

V 本部2025年度事業計画

1. 安定した本部事務局運営

各部門間と本部事務局の連携を強化し、東・西活動センターの事務局運営支援をすすめる。

2. アカデミー運動の使命の確認

- ①使命である「はなしあい」について研修会や機関誌を通じて、発信する。
- ②賛同者・関連団体との連携に努め、アカデミー運動の認知度・理解者の拡充に努める。

3. 広報活動の計画的な運営

機関紙「はなしあい」を定期的に発刊し、デジタルによる発信を検討する。

4. 日本キリスト教会館の管理と財政の安定

オーナー会と協力し会館の維持管理に努め、テナント利用団体の施設利用に協力する。この果実によって財政の安定化に努める。

5. 支える人財の拡充と法人運営の強化

新たな人財の確保と、運営体制を強化する。

（以上）

2025年度 収支予算書（損益計算方式）

2025年4月1日より2026年3月31日まで

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

（単位：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[240]	[240]	[0]	
特定資産運用益	[88]	[0]	[88]	
受取会費	[810,000]	[750,000]	[60,000]	
事業収益	[110,575,492]	[112,585,392]	[△ 2,009,900]	
受取寄付金	[3,102,760]	[2,800,000]	[302,760]	
雑収益	[38,587]	[159,000]	[29,587]	
経常収益計	114,527,167	116,294,632	△ 1,617,465	
(2) 経常費用				
事業費	[113,520,936]	[112,332,462]	[1,188,474]	
管理費	[5,577,923]	[5,396,240]	[181,683]	
経常費用計	119,098,859	117,728,702	1,370,157	
当期経常増減額	△ 4,571,692	△ 1,434,070	△ 2,987,622	
一般正味財産期首残高	371,560,138	372,994,208	△ 1,434,070	
一般正味財産期末残高	366,988,446	371,560,138	△ 4,571,692	
II 正味財産期末残高	366,988,446	371,560,138	△ 4,571,692	

関東活動センター

●2024年度

「特別講座 ことばを届けるトレーニンング」

講師…日本キリスト教団深川教会牧師・友野 富美子さん
元声優・舞台朗読者

2025年3月16日(日)
会場…日本キリスト教団南三鷹教会

私がこの1年間参加してきた関東活動センターのプログラム「ことばを届けるトレーニンング」の受講者は7、8名で、せっかく良い内容なのにこの人数ではもったいない気持ちがありました。講師の友野富美子さんの、礼拝をもっと豊かにしたいという思いに共感して、この講座をもっと広く知ってもらいたいと思いました。そこで私が奉仕している南三鷹教会での特別講座の開催を提案しました。



聖書朗読者も、説教者も「真実を伝えること」(朗読・説教)は「意味を伝える」(音読・解説)とは異なることを認識しなければならぬと指摘されました。聖書の御言葉が喜びを伝えるものか、神の裁きを伝えるものかによって読み方が違うのは当然なのに、同じような声のトーンで読んでいいか、説教が聖書の解説になっていないかと問われま

●2025年度

関東活動センタープログラム紹介

浦上 充(関東活動センター 運営委員長)

す。私には心あたりがあるのことを期待します。そして教で、少し恥ずかしく思いまし会の礼拝がさらに豊になること。講義の後、与えられた招詞とを願っています。他の講座や聖書箇所をどのように読むについても講師を自分の教会かを各自で分析してから朗読に招いて特別講座を行うことし、互いに批評しあつというも可能でしょうから、関東活動センターにご連絡いただければと思います。

この特別講座が毎月のトレレーニングへの参加につながる (関東運営委員 小田哲郎)

を基にその思想を学んでいきます。

◇読書会「キリスト教と文学」
〈対面のみ〉
詩人である柴崎 聰さんと共に「キリスト教と文学」について探求する読書会です。今年度も、海外の作品と日本の作品を交互に取り上げながら、キリスト教が文学の中でどのように表現され、社会に影響を与えてきたのかを見ていきます。

◇「ことばを届けるトレーニンング」
〈対面のみ〉

関東活動センターでは、戦後教会牧師)は、海外からも高争が続く、価値観が大きく揺るぐ評価されています。この講で、動く時代の中で、改めて考座では、『LGBTQ聖書はそえ、話し合っていかなければう言っているのか?』(藤本満葉の選び方、文章を読み解く力に注力します。しかし一方

5年春より4つの連続講座を◇「福嶋 揚と共に「キユンク」を開講しています。各講座の開催日等は、最終ページに記載されていきますのでご覧ください。

◇「LGBTQ+と教会」
〈オンラインのみ〉

みんなで考えてみよう!」

〈オンラインのみ〉

キリスト教の中でも、いわゆる「福音派」の立場からLGBTQ+について『聖書』に基づいて考えていく藤本 満さ 揚さんと共にハンス・キユンク(インマヌエル高津キリストの『イエス』(福嶋 揚訳) 20世紀から21世紀にかけて世界規模で活躍したハンス・キユンクの思想を通して現代を見つめていく講座です。キユンクは、カトリックの神学者でありながら、カール・バルトを研究し、エキュメニズムやキリスト教の再合同を目指しました。この講座では、福嶋はどのようにことなのかといった事柄についても学ぶこと

関西セミナーハウス活動センター

●2024年度「開発教育セミナー」第6回

『植民地支配責任』を考える

『朝鮮学校の歴史と現状を学ぶことから』

講師 同志社大学社会学部教授 板垣 竜太さん

2024年12月21日(土)～22日(日)

会場 関西セミナーハウス

講師は京都朝鮮初級学校や

川崎市の在日コリアンへの

「敵国人、祖国へ帰れ」書込

み等のヘイトに対する裁判で

意見書を作成し、被害者の恐

怖や怒りに立ち会ってきた。

セミナーではヘイトの諸相・

ヘイトの源泉としての植民地

主義・民族教育の歴史を学び

合った。

初めに、配慮を欠いた冗談

めいた発言からジェノサイド

へとヘイトのレベルが押し上

げられる構図が示された。ど

のレベルもレイシズムの表れ

であり、ウトロ放火事件はそ

の典型で、生きるために闘っ

てきた証の喪失、深刻な被害

経験を被害者にもたらした。

続いて、奴隷貿易と奴隷制

までさかのぼって、ヘイトの

源泉としての植民地主義が解

説された。少数者が多数者を

支配する植民地政策では、多

数者を見下す優越意識が支配

を補完する。日本帝国主義の

領土拡大に伴い、朝鮮半島を

初めとするアジアの人々の尊

厳が奪われ、戦後の政策にお

いても在日コリアンは法の下

の平等の埒外に置かれ、偏見

は持続した。

二日目は朝鮮学校を民族教

育の歴史から考察した。戦後

日本に留まった朝鮮人は全国

各地で学校をつくり、京都市

内では30を超えた。1949

年の朝鮮人学校閉鎖令後も制

度外で再建された。今も教育

無償化の対象から外されるな

どの差別が続いているが、民

族教育の取り組みは日本社会の

ありようを考える示唆となる。



膨大な資料を駆使した解説も、明快な図表と的確な解説で分かりやすく、一つひとつ

領きながら耳を傾け、植民地主義と民族教育の全体像が浮かび上がった

●2024年度 修学院フォーラム「いのち」第3回

『新しい視点で聖書を読む』

『『エコロジカル聖書解釈の手引き』のフォローアップ』

講師 神戸女学院大学文学部准教授 大澤 香さん

2025年1月11日(土)

会場 関西セミナーハウスとZoomによるオンライン

本セミナーの目的は、昨年

3月に出版された『エコロジ

カル聖書解釈のてびき』（関西

学院大学キリスト教と文化研

究所編、キリスト新聞社）のユ

ニークな点の紹介と、日本で

のエコロジカル聖書解釈が出

版以後どうなっていくかを共

有することでした。大澤先生

はご講演のなかで、エコロジ

カル聖書解釈研究とアイヌの

口承文芸に見られるカムイの

視点をていねいに紡いでいこ

うとされる試みをされました。

とりわけ報告者の（おそら

く参加者の多くの）印象に残

ったのは、「第四人称」です。



関西セミナーハウス

グランドピアノが寄贈されました。感謝！

去る2月、関西セミナー

ハウス大会議室に、京都で

長年音楽教育に尽くされた

故高橋道子さんからグラン

ドピアノ1台が寄贈されま

した。傷みの出ていた先代

ピアノに代わり、よい音を

響かせています。



4月6日

「春のオープンハウス」開催

枝垂れ桜が見頃を迎え、野

点、能舞台の解放、館内スタン

プラリーなどを行いました。

ピアノご寄贈のお披露目を兼

ねて高橋道子さんに

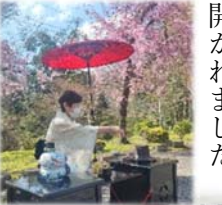
ゆかりの皆様による

女声コーラス、

クエール・ド・リス

のコンサートも

開かれました。



2024年度賛助会費・寄付金納入者ご芳名

2024年4月1日～2025年3月31日

ご支援に感謝申し上げます。

(順不同・敬称略)

財団本部

終身会員

神崎 清一
神保 正男
神保 信子
中井 博雅
小久保 正
野田 純一
島田 恒彦
横野 朝彦

寄付金

柳井 一朗

関東活動センター

賛助会費

平井 祐美子
松浦 茂長
星野 宗吾
河原田 美哉子
中村 信博
小原 武夫
押切 稔
竜野 かおり
小田 哲郎
坂下 道朗
神谷 伊勢男
平井 祐美子
大川 芙喜子
友野 富美子
立原 敬一
古賀 博
戸村 滋見
浦上 充
石川 憲彦
浦上 佳織
全国教会婦人会連合
只野 哲
松井 直樹
木原 諄二
戒能 信生
神谷 伊勢男
神保 信子
林 秀雄
村松 庸子
吉田 博
最上 光宏
坂下 道朗
大橋 祐治
仰下 仁
原 牧人
日本キリスト教団南三鷹教会
戸村 滋見
寄付金
松浦 茂長
日本キリスト教団早稲田教会
中村 信博
原 誠
竹中 百合子
増田 博
村松 庸子
石川 憲彦
大川 芙喜子
押切 稔
石橋 光朗
武藤 陽一
藤倉 なおこ
大坪 秀子
吉田 博
日本キリスト教団経堂緑岡教会
アジアキリスト教教育基金
小林 誠治
川畑 泰・淑子

横浜雙葉中学・高等学校
小林 義彦
石橋 光朗
大鹿 康廣
日本基督教団 霊南坂教会
高畑 昭久
横野 朝彦
湊 理恵
増田 博
クリスマス寄付金
飯田 庸子
日本基督教団 市川三本松教会
日本基督教団 浦安教会
大坪 秀子
河原田 美哉子
恵泉女学園中高・宗教部
日本キリスト教団 須賀川教会
日本基督教団 千代田教会
中村 信博
濱田 ひろみ
日本基督教団 原宿教会
水溜 千枝子
日本基督教団 洛南教会
神学生交流プログラム寄付
井口 拓人
石田 学
浦上 佳織
浦上 充
大森 意素
小田 哲郎
加藤 真規子
関西学院大学神学部 後援会
神田 健次
古賀 博
柴田 朋子
島田 恒彦
神保 信子
竹中 百合子
同志社大学神学部
外谷 悦夫
日本聖書神学校
農村伝道神学校
原 誠
日本キリスト教団東中野教会
増田 琴
松下 起子
日本キリスト教団 早稲田教会
西南学院大学
関西セミナーハウス
寄付金
野口 健
阿部 ゆかり
柴田 賢司
中村 信博
神崎 清一
林 律
船坂 孝江
武山 泰子
八田 尚嘉
諫早 道子
牛尾 宣夫
株式会社田中工務店
塚本 茂
全国本労労働組合連合会
辻 紀子
浅沼 弘一
中村泰洋園
株式会社ワンアップ・ジョブ
株式会社新経営サービス
林 宗一郎

延原 正海
和田 喜彦
今若 京子
岩崎 順子
森口 克洋
神保 正男
ダイキン工業労働組合
株式会社藤木工務店京都支店
竹内 勲
竹中 百合子
中井 博雅
福中 康博
藤田 美和子
株式会社三原工務店
代表取締役 北迫義人
水谷 敬子
小久保玲子
京都桃山アシュラム
奥田 正義
黒岩 裕二
荒井 功
WBC2024 近見富美子
長谷川 義紘
奈良 睦子
鈴井 さち子
西谷 直子
脇坂 照世
小田 美乃里
武藤 高司
カプトムシまつり 2024
関西セミナーハウス活動センター
賛助会費
村上 みか
巽 義治
中村 信博
木原 諄二
堤 龍春
多木 秀雄
五十嵐 萬里子
高塚 郁男
小澤 妙子
浦 晴子
斉藤 洋子
水戸 潔
今川 泰彦・喜子
李 善恵
吉田 力
森口 克洋
織田 雪江
伏木 信次
島井 清司・操
橋 俣子
山本 貴之
藤田 恭子
比嘉 美智子
医療法人わたなベクリニック
木村 護郎クリストフ
真鍋 裕子
佐藤 友紀
竹中 百合子
熊谷 文郎・恵子
八杉 恵
陶村 世佳子
西川 淑子
三矢 明
山添 みどり
新宗連大阪事務所 公文孝枝
菅原 幸子
山本 俊正
日野 多栄子

松岡 蓉子
匿名 恵
徳田 信
山岡 義生
大谷 光真
木下 壽子
長塩 滋子
小笠原 純
クリスチャン・M・ヘアマンセン
田中 義信
宮本 桂子
シュペネマン 偕美
水戸 潔
岩坂 二規・泰子
川北 かおり
丸山 まり子
間瀬 啓允
林 律
佐々木 紘児
松田 光代
上條 美代子
喜多村 やよい
梅山 猛
徳丸 延子
宇野 稔
吉中 尚子
関西青年アシュラム
都木 かおり
伊藤 威知郎
中上 和子
菅 恒敏
島田 誠一
白方 誠彌
桜井 希
西岡 裕芳
金山 顕子
岡野 彩子
岡安 茂祐
友前 尚子
奈倉 道隆
樋口 よう子
寄付金
村上 みか
中村 信博
木原 諄二
延原 正海
井口 拓八
斉藤 洋子
水戸 潔
小久保 正
川北 かおり
森口 克洋
林 律
間瀬 啓允
藤田 恭子
根岸 宏邦
姫野 真知夫
横田 穂美
島田 恒
桜井 希
柳井 一朗
竹中 百合子
西川 淑子
菅原 幸子
山本 俊正
熊谷 沙蘭
匿名 義生
山岡 義生
坪野 えり子

クリスチャン・M・ヘアマンセン
南 和子
福留 順子
日本キリスト教団 寝屋川教会
宮本 桂子
織田 雪江
武山 泰子
京都みぎわキリスト教会
喜多村 やよい
徳丸 延子
後宮 嗣
吉中 尚子
滝澤 佐紀子
榎本 栄次
丸山 まり子
長谷川 義紘
濱崎 敦
朴 賢淑
大野 三枝子
日本キリスト教団 伊丹教会
日本基督教団 西が丘教会
大宮 有博
日本基督教団 草津教会
活動支援特別寄付金
匿名
クリスマス寄付金
熊谷 沙蘭
中村 信博
シュペネマン 大島 偕美
小久保 正
多田出 佳代子
林 律
浦 晴子
武山 泰子
山添 みどり
日本基督教団 四条畷教会
藤田 恭子
京都みぎわキリスト教会
五十嵐 萬里子
斉藤 洋子
藤永 春子
神崎 清一
藤田 敦子
吉田 力
松田 光代
山本 俊正
和田野 勢津子
井田 光昭
多木 秀雄
日本キリスト教団 吉田教会
坂口 みどり
丸山 まり子
竹中 百合子
伊藤 正子
松本 忠明
日野 多栄子
脇坂 照世
島田 恒
今川 泰彦・喜子
匿名
杉本 尚司
クリスチャン・M・ヘアマンセン
伊藤 威知郎
在日大韓基督教京都教会
日本基督教団 世光教会
日本基督教団 平安教会
日本基督教団 洛南教会
日本基督教団 京都教会

プログラム案内

◆関東活動センター

■2025 年度 聖書を読む講座 I

(共催:早稲田奉仕園)

「LGBTQ+と聖書 みんなで考えてみよう!」

講師:藤本 満さん(インマヌエル高津キリスト教会 牧師)

日時:4月~2026年3月、第2火曜(8月、12月休会)19:30~21:00

参加費:全10回10,000円、学生5,000円

方法:Zoomによるオンライン講座

■2025 年度 宗教対話 I

読書会「キリスト教と文学」

講師:柴崎 聰さん(詩人、日本聖書神学校講師)

日時:4月~2026年3月、第3火曜(8月、12月休会)14:00~15:30

参加費:1,000円/回

会場:関東活動センター会議室

(キリスト教会館1階16号)

■2025 年度 宗教対話Ⅲ

福嶋揚と共にハンス・キュンクを読む

講師:福嶋 揚さん(神学者)

日時:5月~2026年2月、第4金曜(8月、12月休会)16:30~18:00

参加費:全8回10,000円、学生8,000円

方法:Zoomによるオンライン、対面回

■2025 年度 話し方ワークショップ

「さらに豊かな礼拝のために

ことばを届けるトレーニング」

講師:友野富美子さん(日本キリスト教団深川教会牧師)

日時:5月~2026年3月、第3金曜

(8月休会)19:00~20:30

参加費:各回 1,500円/回

会場:日本キリスト教団東中野教会

◆関西セミナーハウス活動センター

■2025 年度 修学院フォーラム「社会」

第1回「韓国における戒厳令の歴史と日本帝国、そしてキリスト教」

講師:洪 伊杓(ホン・イビョ)さん(名古屋学院大学非常勤講師)

日時:5月24日(土)13:30~16:00

参加費:2,000円 学生500円

方法:会場関西セミナーハウスとZoom併用

■2025 年度 修学院フォーラム「いのち」

第2回「ロシア正教とウクライナ正教会の関係ーロシアのウクライナ侵攻の宗教的背景」

講師:久松英二さん(龍谷大学国際学部教授)

日時:6月14日(土)13:30~16:30

参加費:2,000円 学生500円

方法:会場関西セミナーハウスとZoom併用

■2025 年度 開発教育セミナー

第1回「開発教育入門セミナー

~人権・平和・環境などの地球的課題を参加型で学ぼう~」

(共催:京都市国際交流協会)

講師:大槻一彦さん(Glocal net Shiga)、佐藤友紀さん、織田雪江さん、友前尚子さん(開発教育研究会)

日時:6月22日(日)10:00~16:00

参加費:2,000円

会場:kokoka 京都市国際交流会館

■2025 年度 修学院フォーラム「福祉」

第1回「宗教はエコか?~神道、仏教、キリスト教からの問いかけ」[対面開催]

講師:鎌田東二さん(京都大学名誉教授)、梶田真章さん(法然院 貫主)、大宮有博さん(関西学院大学法学部教授・宗教主事)

日時:6月28日(土)13:00~29日(日)13:00〈集合:法然院〉

参加費:16,000円(泊食代、市宿泊税込)

会場:関西セミナーハウス

第2回「釜ヶ崎をとおしてみえる私たちの社会」

講師:大谷隆夫さん(日本基督教団摂津富田教会牧師、関西労働者伝道委員会委員長)

日時:7月12日(土)13:30~16:00

参加費:2,000円 学生500円

方法:会場関西セミナーハウスとZoom併用

関西セミナーハウス

新ミーティングルーム **エマオ**



オープン記念

電動昇降テーブルと専用チェア、大型モニターと広角カメラを備え、Web会議にも快適対応。

(7名様まで)

「エマオ合宿プラン」実施中 (〜6/25)

賛助会費・寄付金報告

2025年1月1日~3月31日
(順不同・敬称略)

◆財団本部

寄付

柳井 一朗

◆関東活動センター

賛助会費

坂下 道朗

大橋 祐治

仰下 仁

原 牧人

日本キリスト教団南三鷹教会

戸村 滋見

寄付

横浜雙葉中学・高等学校

小林 義彦

石橋 光朗

大鹿 康廣

日本基督教団霊南坂教会

高畑 昭久

横野 朝彦

湊 理恵

増田 博

神学生プログラム寄付

関西学院大学神学部後援会

加藤 真規子

浦上 充

石田 学

日本聖書神学校

原 誠

大森 意索

柴田 朋子

西南学院大学

古賀 博

日本基督教団早稲田教会

増田 琴

小田 哲郎

島田 恒

神田 健次

神保 信子

外谷 悦夫

日本キリスト教団東中野教会

浦上 佳織

クリスマス寄付

日本基督教団千代田教会

水溜 千枝子

日本キリスト教団須賀川教会

飯田 庸子

濱田 ひろみ

日本基督教団市川三本松教会

日本基督教団浦安教会

日本基督教団原宿教会

◆関西セミナーハウス

寄付

武藤 高司

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

西岡 裕芳

金山 顕子

岡野 彩子

岡安 茂祐

友前 尚子

奈倉 道隆

樋口 よう子

寄付

日本キリスト教団伊丹教会

日本基督教団西が丘教会

桜井 希

クリスチャン・M・ヘアマンセン

柳井 一朗

村上 みか

大宮 有博

日本基督教団草津教会

武山 泰子

クリスマス寄付

伊藤 威知郎

在日大韓基督教京都教会

日本基督教団世光教会

日本基督教団平安教会

日本基督教団洛南教会

日本基督教団京都教会

以上、感謝を持って
ご報告申し上げます。

財団本部 HP



関東活動センターHP



関西セミナーハウス HP



KSH 活動センターHP



公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 中村 信博

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 1F
TEL 03-3207-6198
E-mail: info@academy-tokyo.com
郵便振替 00190-7-109437

関西セミナーハウス

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2115
FAX 075-701-5256
E-mail: info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2117
FAX 075-701-5256
E-mail: office@academy-kansai.org
郵便振替 01020-1-5184